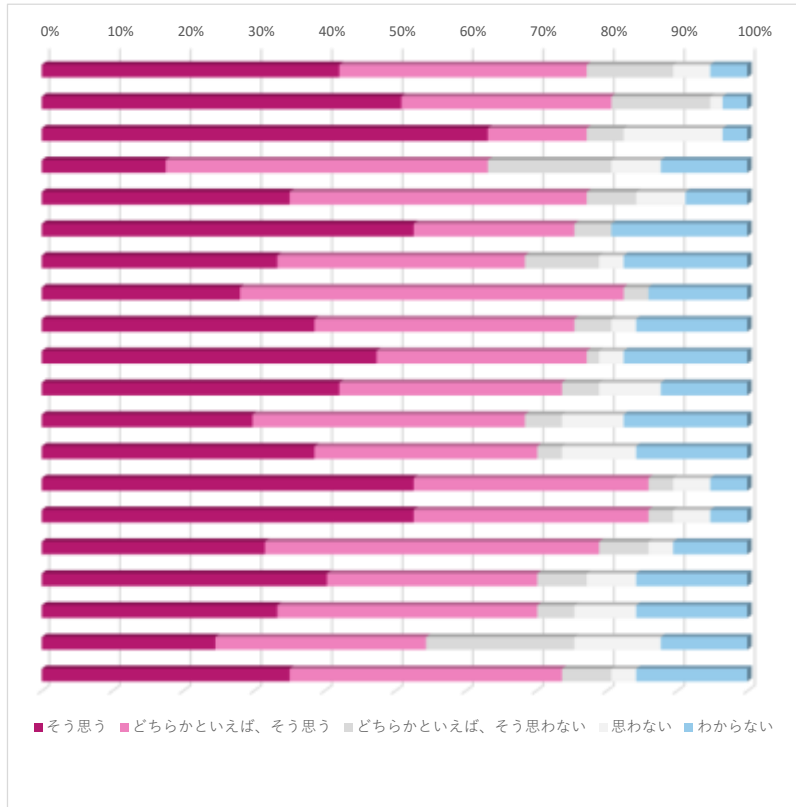


「学校教育アンケート」結果の報告とお礼

千早赤阪村立中学校 校長 蔦 亜紀朗

今年度の学校教育自己診断アンケートは「はなまる連絡帳」のメール配信システムを利用して実施させていただきました。その結果、57件の回答がありました。(回収率76%)ご協力ありがとうございました。保護者の皆様、生徒の皆さんからのアンケート結果をお伝えいたします。アンケート結果から、肯定的評価が高い項目、他と比べて肯定的評価が低い項目についての考察をいたしましたのでご覧ください。また、自由記述のご意見につきましても、掲載させていただきましたのでご覧ください。貴重なご意見を今後の学校運営に活かし、より良い学校づくりを目指してまいります。今後ともご支援いただきますようよろしくお願いいたします。

- 1 子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。
2 子どもは、学校行事を楽しみにしている。
3 子どもは、積極的に部活動に参加している。(3年生は、引退までの間)
4 子どもは、授業がわかりやすいといっている。
5 学校は雰囲気が良く、子どもたちは生き生きと学校生活を過ごしている。
6 学校では、子どもに関するプライバシー(個人情報)が守られている。
7 学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。
8 学校は、子どもたちに将来の進路や職業などについて、適切な指導を行っている。
9 学校は、進路に関して家庭への連絡や適切な情報提供を行っている。
10 学校は、評価に関して適切な情報提供を行っている。
11 学校は、生命を大切にする心や社会のルールを守る態度を、育てようとしている。
12 学校は、自分の生き方を考え、豊かな心を持った子どもを育てようとしている。
13 学校は、発達段階に応じて、子どもに人権を尊重する意識を育てようとしている。
14 先生たちは、子どものことについて、適切に保護者との相談に応じてくれる。
15 先生たちは、家庭への連絡や保護者との連携を積極的に行っている。
16 先生たちは、子どもをよく理解し、適切に評価している。
17 先生たちは、子どものまちがった行動を適切に指導してくれる。
18 先生たちは、こどもの人権を尊重する姿勢で指導にあたっている。
19 学校の施設・設備は、学習環境面において整っている。
20 学校は、防災や防犯、事故防止に配慮し、子どもに適切に指導している。



◎ 肯定的評価が高い項目

(14)先生たちは、子どものことについて適切に保護者との相談に応じてくれる。(86%)
(15)先生たちは、家庭への連絡や保護者との連携を積極的に行っている。(86%)
子どもたちは、学校という社会で過ごす中で、さまざまな経験を通して成長していきます。その中で学習のこと、進路のこと、友達関係のことなど様々な悩みも出てきます。その際に子どもたちも保護者の方々も安心して教師に相談できるように心掛けています。今後も子どもたちが安心して学校生活を送れるように、保護者の方々も連携しながら、全職員で子ども一人ひとりを大切に見守っていきます。
(8)学校は子どもたちに将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。(82%)
子どもたちが将来の進路や職業などについて、中学校でも学年に応じてキャリア教育を行っています。2年生では、2日間の「職業体験」も実施し、自分の将来について具体的にイメージできるようにもしています。今後も自分で自分の将来の進路や職業などについて考えられるように指導を行っています。
(2)子どもは、学校行事を楽しみにしている。(81%)
日々の授業だけでなく、行事を通して子どもたちに成長してほしいと願っています。体育大会や文化発表会では、全力で取り組んだり、仲間と助け合いながら目標に向かってがんばったりする姿が見られます。今後も、子どもたちが行事に対して主体的に、意欲的に取り組めるよう見守っていきます。

● 他と比べて肯定的評価がやや低い項目

(19)学校の施設・設備は、学習環境面において整っている。(55%)
今年度、学習用具に体育館用マットを新調したり、技術等で使用するボール盤を購入したりしております。また、体育大会で使用した大型テントや廊下の日除け対策のための簾もPTA会費から購入させていただいております。今後も村の予算は限られていますが、子どもたちのよりよい教育のために、施設・設備を整備していきたいと思っております。
(4)子どもは、授業がわかりやすいといっている。(64%)
本校は、研究テーマとして「考える・書く・伝える」を掲げています。子どもたちの基礎学力の定着をはかり、話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり広げたりしながら、「わかった」と実感する授業をめざしています。今後も日々の授業研究を大切に、各研修での学びも全職員で共有しながら、わかりやすい授業をめざして取り組んでいきます。
(7)学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。(68%)
本校は、心を耕す教育を学校目標、学年目標を立てて行っています。人の在り方を真剣に考え、正しく判断し、よりよい解決を図ろうとすることができ、仲間を大切に、ともに伸びようとする力の育成、差別を許さない集団作りをめざしています。今後も子どもたちや保護者の方々も安心して教師に相談できるように心掛けながら、全職員で子どもたちが安心して過ごせる学校づくりをめざして尽力していきます。

自由記述

クラスの雰囲気により、クラスに行きたくても行けない子が成績に評価されないのはおかしいと思う。クラスに入れるだけで評価されるのが納得できない。学年を2組に分けるべきだと思う。いやな気持ちになる子だけが守られてないのはおかしい。(項目)17(先生たちは、子どものまちがった行動を適切に指導してくれる。)は本当にしているのかわからない。
部活動の兼部を提言します。生徒数が減り、団体競技のチームが構成できなくなっています。例えば、運動部と文化部を兼部することで、子どもの様々な側面を総合的に伸ばすことができると考えられます。以上のことから、部活動の兼部という大きな改革を求めます。
自転車通学路の安全を点検する日があれば良いと思う。
隠蔽する体質は無くして欲しい。先生一人で生徒を呼び出す事はしないで欲しい、必ず先生対生徒一対一の指導はしないというルールを作って欲しい(指導内容に疑問がある、指導者の方向性がバラバラだから)。郷土学習をしっかりと地元愛を育てて欲しい。起業できる人材作り、持って生まれた素質を高める育み、教育長の教育改革を期待しています。
学校への要望として記入いたします。教職員の身だしなみについて、保護者として学校の対外的な印象や、生徒への影響を心配しております。学校としての信頼にも関わらないかと感じます。現在の中学校は落ち着いており、子どもたちも良い環境で学校生活を送っていると感じています。一方で、今後入学してくる生徒への指導の在り方も重要になってくると思います。特に生徒指導を担う先生方には、子どもたちの模範となり、将来を見据えた良き指導が行える体制と、生徒や保護者が安心して相談できる印象づくりを期待しています。

学校から

いただいたご意見に関して、個人や個別に関する内容については記載を控えたり、一部変更して掲載したりしております。ご了承ください。
多様な人が過ごす学校生活の中で、教職員はそれぞれの生徒の状況に応じ対応、指導に取り組んでおります。学習支援についても、くすのきホールにあるくすのきルームや校内独自の支援ルームと連携しておこなっております。
部活動については、国が進める数年単位での改革に合わせつつ、小規模な本校としてどうしていくのか考えていく必要があります。兼部は部員増・機会増には繋がりますが、練習の両立、チームづくりという点での課題もあり、検討が必要です。
通学路点検については学校の業務の範囲もあり、積極的に進めにくいですが、村や警察への情報提供・要望はおこなっております。また、今年度も全校生徒対象の交通安全教室を実施しております。
情報の管理や提供は、個々のケースに合わせ慎重に対応いたします。生徒への指導は、状況により、複数の教員で対応すること一人でも対応することもあります。いずれにせよ、進め方など方針を共有して臨むこと、環境・雰囲気、プライバシー保護への配慮も大事にしたいと思っております。
村の「未来プラン」に基づいた教育活動を、次年度から村立小・中学校で連携して進めてまいります。
個性豊かな生徒たちに多様な視点で寄り添っていきけるよう、私たち教職員も、それぞれの個性を持ち味として生かすことで、学校というチームの容量を増やそうとしております。安心感・信頼感という点でいただいたご意見は参考にさせていただきます。

以上が今年度のアンケート結果と今後についての報告になります。このアンケートを一つの指標に改めて教職員が一つになって保護者の願いに応える教育の推進に努めます。これからもお気づきの点や質問がありましたら、学校までお知らせ願います。